

リーディングDXスクール事業【実践事例】

興本扇学園 足立区立興本小学校

【取組内容③】 Google Classroomを用いた連絡配信及びAIドリルを活用した放課後補充教室

本校では、児童・生徒への時間割等の連絡に「Google Classroom」を活用している。翌日の時間割、宿題、持ち物、連絡等を、児童・生徒が個々の端末からいつでも確認することができる環境にした。また、予定黒板に書いてあることを連絡帳に書くことがなくなったことで、時間の有効活用につながった。

つぎに、放課後補充教室や日常の課題、長期休業中の課題としてAIドリルを活用している。放課後補充教室では、教師が事前に作成したワークブックに取り組み、課題を終えた児童から苦手としている教科、力を伸ばしたい教科などを自ら選択し、個別最適な学びの学習を進めることができた。

📅 1月9日 (火)

しらとり先生・1月9日

2024年になりました。
今年もよろしくお祈りします！

小学校生活も残すところ3ヶ月です。
時間は限られています。1日を大切に過ごしましょう。

8:10 冬休み明け朝礼 教室出発
①冬休み明け朝礼&課題回収
②課題回収&手紙配布
③百人一首
④音楽 ※卒業式の曲、暗唱確認
給食なし

明日の時間割は午後更新します。

🗨️ クラスのコメント



成果

- ・児童がいつでも連絡を確認することができ、忘れ物を減らしたり、見通しをもって生活したりすることにつながった。
- ・連絡帳ではできなかった急な予定の変更や追記を、簡単に行うことができた。
- ・苦手な単元の復習を自宅ですすめることができ、翌日の授業に自信をもって臨むことができた。
- ・学習の習熟度がデータで分かり、児童一人一人への個別指導を効果的に行うことができた。

課題

- ・タブレットを学校に忘れる、充電をし忘れるなどの理由で連絡が確認できないことがあった。
- ・AIドリルでは、回答を正しく読み取れなかったり、正確性が欠けている文字でも正解になったりすることがあった。